



長野市善光寺門前
松葉屋家具店

樹齢200年一枚板テーブルと暮らしの道具展

2016年8月27日(土)~9月1日(木)
10:30~17:30 (最終日は16:00まで)

会場：御菓子処・花岡 ギャラリー胡桃俱楽部

日本の山々で育った広葉樹一枚板テーブル

松葉屋家具店が東御市、クルミの御菓子で有名な
御菓子処・花岡さんにお邪魔します。

長野市善光寺門前に創業1833年(天保4年)から家具屋を営み、
百年使えるくらしの道具を製作する松葉屋家具店が、
「樹齢200年一枚板テーブルと暮らしの道具展」を開催します。

クルミ菓子で知られる会場の御菓子処・花岡さん本店右の蔵は、
松葉屋同様100年以上の歴史ある建物。今回、花岡さんにちなみ、
ケヤキ、柿、栗など日本の山で育った広葉樹一枚板に加え、
オニグルミのテーブルや、学習机、ちゃぶ台、スツールなど
「暮らしの道具」を展示します。

美しい、遊牧民の手織り絨毯、アートギャッベも選りすぐりを
持参いたします。ぜひご来場ください。

松葉屋七代目店主
滝澤 善五郎



栗の戸棚



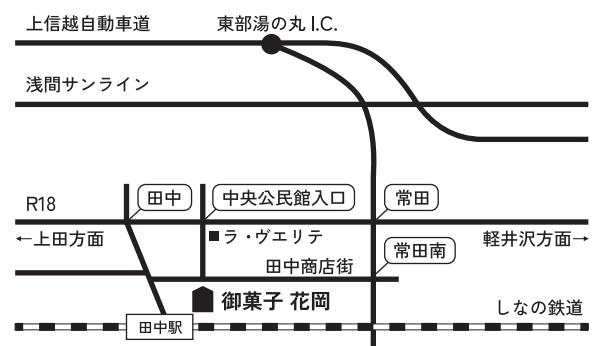
ちゃぶ台



一生使える木の学習机



会場：御菓子処・花岡
ギャラリー胡桃俱楽部
〒389-0516 長野県東御市田中179
TEL 0268-62-0236
<http://www.okashi-hanaoka.jp>



展示会のお問い合わせは松葉屋家具店へ
ご連絡ください。電話：0120-55-2346

一生使える家具しかつくらない
そこにこだわるから、松葉屋家具店だと思う。

七代目店主 滝澤 善五郎



1 傷のひとつもあじわいになる
長く使えるものであること

ロングライフデザインともいいますが、松葉屋家具店では『100年家具』と呼んでいます。使えば使うほど、じわじわと愛着がわき、大切に使おうという心がうまれます。ご自分のおうちの中を見渡して、ひとつでもおうちの宝物といえるような何代も使い続けられているものがあるでしょうか。樹齢100年以上という説得力、迫力ある佇まいが、2代から3代そして4代へと世代を超えて使い続けても色あせない暮らしの道具に育っていきます。

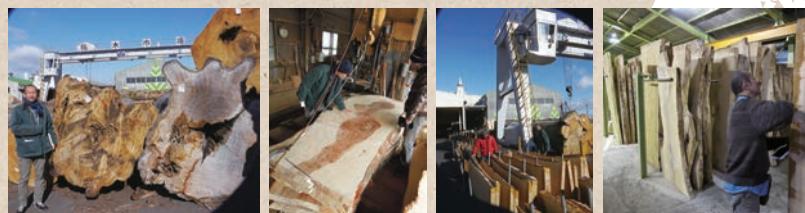
使う人の心と身体に
安心・安全であること

シックハウス症候群とは住まいの中の空気汚染による健康被害をいいます。シックハウスの原因はいろいろあると考えられています。その中の大きな原因のひとつに住宅の建材や家具、カーテンから揮発する化学物質があります。私は自分のことをシックハウスで苦しめてしまつた経験から、私たちの制作する家具が原因となって私のことも同じような経験をさせるようなことは決してあってはならないと決めました。松葉屋家具店の椅子は、表面を自然塗料のみで丹念に仕上げたシンプルなつくりです。

3 地球の環境に 負担がないものであること

松葉屋の一枚板は、身近な日本の山で育った広葉樹のみ使用しています。希少で美しいことはもちろん、安全で安心ができること、何千キロもの運搬に余分なエネルギーを使わないこと。また、量産しないため、原木の見立てから始まり、自社工房でひとりの職人さんの手で一貫してつくったものだけが店頭に並びます。森が育つ過程、仕上げる工程、そしてつくる職人の顔や手技が感じられる、そういう一枚板テーブルです。

一枚一枚
選定、乾燥、製作、仕上げを
しています。



日本の山で育った木が育む心。
んのお宅に迎えていただいています



松葉屋家具店+くらし道具学研究所

〒380-0841 長野市大門町 45 tel : 0120-55-2346 e-mail : since1833@matubaya-kagu.com
<http://www.matubaya-kagu.com> <https://www.facebook.com/matubaya>



善光寺門前
松葉屋家昌店